

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①あつまでプレーパーク／厚真ファイトース東胆振大会優勝
- ②厚真未来カレッジ開講／走り方教室
- ③終戦80年展示会・講演会のお知らせ
／厚真ダム・厚幌ダム周辺散策ツアー
／北海道みんなの日
- ④二十歳のつどい／5月定例教育委員会
／学校プール利用のお知らせ
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

こどもも大人も「やってみたい」「やりたい」を実現する場 「あつまでプレーパーク」定期開催しています！

教育委員会では、子どもも大人も「やりたい」「やってみたい」を実現する遊び場として、今年度から新たに「あつまでプレーパーク」を定期開催しています。これまで5月31日（土）と6月21日（土）に開催し、町内外から延べ150人を超える方が遊びに来てくれました。プレーパークは冒険遊び場とも言われており、「一人ひとりのやってみたいを大切に、自由に遊びを創る場所」を意味しています。

これまで、豊かな自然環境を生かして年に1回「森のひろば」という事業を行っていましたが、今年度からは町内のさまざまな場所で年に8回、遊び場を展開し、広く開かれた場所（厚真新町公園、上厚真中央公園等）で実施することで、だれでも、いつでも、気軽に参加できる場づくりを目指しています。

開催に関する詳細は、右記QRコードや町内掲示のポスター等をご参照ください。



5月31日のプレーパークの様子



←ホームページ情報

活動日程、場所、時間等の予定を記載

主催：厚真町教育委員会

協力：西埜馬搬、NPO法人森のころね

問合せ：社会教育グループ ☎27-2495

祝 厚真ファイトース東胆振大会優勝！！

3年前から厚真・上厚真・追分の合同野球チームとして活動している厚真ファイトースが、5月31日（土）に行われた「第4回明治安田生命苫小牧旗争奪野球大会／ホクレン旗争奪第43回北海道少年軟式大会東胆振ブロック予選」で優勝し、胆振大会への出場を決めました。

主将の岡橋泰誠くんは、胆振大会に向け、「イーグルス（苫小牧）は強いチームなので元気にのまれないように頑張ります。勝ちたい！」「今年は去年の勝利記録を超えられるよう頑張りたい」と気合十分でした。

加賀谷監督は「平日は厚真・追分別れての練習となり、土曜日しか合同練習ができないため、フォーメーションやコミュニケーションが難しかった」「仲の良さをプレーでも発揮して、ミスしても助け合えるチームに、北海道日本ハムファイトースのように雰囲気の良いチームになれば」と、今までの苦悩と今後への期待を話していました。



ー世界で活躍する熱中人から学ぶー 令和7年度厚真未来カレッジ開講します！

令和5年度から取組を進めている「厚真未来カレッジ（アツカレ）」。今年度も、自分のやりたいことや好きなことに熱中している方をお招きし、今年度は、4回開催予定です。

第1回目の講師は、登山家の戸高雅史（とだか まさふみ）さんの特別講演です。23歳から16年間、無酸素や単独でヒマラヤの高峰にチャレンジしてきた戸高さんが、ヒマラヤで体感した「いのちの瞬間性」に迫ります。

当日は、プラネタリウム投影も行いながら、ヒマラヤからの星空の写真等も含めた内容となっていますので、ぜひご参加ください。

【開催日時】

7月12日（土）17時～19時

【場所】

厚真町青少年センター

【対象】

どなたでも参加できます



厚真未来カレッジ
とは？



ホームページ
詳細



【講師プロフィール】
登山家、野外学校 FOS 代表。1961 年大分県生まれ。大学で足と水にまみれてひたすら歩くと同時に周囲環境に興味を持ち、子どもの頃の記憶が蘇る。遊れど共に歩ける仲間を模索する中、山と出会う。以後、23歳から16年間、山との融合を求め、無酸素や単独のシンブルなスタイルでヒマラヤの高峰に登り続ける。1996 年、世界第二の K2 峰 (8,611m) に単独登頂。二年後、チョンセンツァン峰北西稜上部にて野宿中、「生きるべき世界はいのちのつながりのなかにある」と感動。湧きあがった水と熱に導かれた日本の自然・山脈、ヒマラヤで体感した「いのちの瞬間性」が我が子の一瞬一瞬を生きる姿と響きあい、自然体験の積極転換を促す。現在、自然のなかで「感じるまま、このまま」に過ごす体験の場を子どもからファミリー、ユース、大人の方を対象に富士山麓、奥山他、各地で開催している。

主催：厚真町教育委員会 問い合わせ：電話 0145-27-2495

走り方教室 by 北風沙織さん 今年も開催！ ～運動会前に短距離走の基礎を学ぶ～

北風沙織さんによる走り方教室が今年も開催されました。5月23日（金）に中央小学校、5月30日（金）は上厚真小学校のグラウンドで、小学5年生・6年生を対象として運動会に向けて短距離走の基礎をレクチャーしていただきました。

元々日本のトップレベルで競技をしていた北風さんの走りのキレは健在で、自らお手本を見せながらの指導に、児童から思わず「すごい！」「なんでこんなに速く動けるの？」という声が聞こえてくるほど！

走るということはとてもシンプルな運動ですが、より速く走るにはどうすればよいかという走りの奥深さや楽しさを体験する教室となりました。

＜当日の内容＞

ウォーミングアップ／動きづくり
マーク走／ショートダッシュ



北風さんによる「アッチッチ走り」の実演



速く走る秘訣は地面とお友達になること！

【講師 北風沙織さんプロフィール】

元陸上競技短距離選手 現北海道 Bremens 所属・北翔大学陸上競技部監督

経歴：江別大麻中学校→恵庭北高等学校→北海道浅井学園大学（現・北翔大学）→北海道ハイテク A C

実績：100m 自己ベスト11秒42

全日本中学校選手権・インターハイ・国体・日本インカレ優勝

= 終戦80年展示会・講演会のお知らせ =

教育委員会では平成24年（2012年）から、厚真町内や苫小牧市に残るトーチカや塹壕などの戦争遺跡の見学会をほぼ毎年実施してきました。今年は終戦80年目を迎えるにあたり、戦争遺跡関連の地図や写真、厚真町での空襲や兵隊のエピソード、寄贈された戦地からの手紙などの展示と講演会を実施いたします。

この機会に、80年前の厚真を乗り越え今がある。その時代を感じ、世代を超えて伝え、考えてみませんか？

【 展 示 】

※上厚真地区は北海道空襲、厚真地区は終戦の日に合わせての展示です。

上厚真地区

場所 厚南会館1階ロビー
期間 令和7年7月3日（木）
～7月31日（木）

厚真地区

場所 福祉センター1階ロビー奥
期間 8月5日（火）
～8月21日（木）



【 講 演 会 】

日時 令和7年7月13日（日）
午前10時～11時頃
※終了後に展示解説

場所 厚南会館2階

演題 厚真町とその周辺の戦争遺跡
申込不要

お問合せ 軽舞事務所
☎28-2733

厚真ダム・厚幌ダム周辺散策ツアー 今年も開催

昨年たいへん好評だった幌内地区の見学ツアーを今年も開催します。当日は学芸員がバスの中で厚真の歴史を紹介しながら、「北進平取線」を抜けて、むかわ町穂別まで足を延ばします。意外と知らない厚真町北部の散策を行い、昼食は厚幌ダム右岸小公園の「チセ風あずまや」でとる予定です。

◆日 時 7月21日（月・祝）9時～15時ごろ

◆集合場所 厚南会館 9時
青少年センター 9時20分

◆見学場所 厚真町幌内地区周辺および穂別地区

◆定 員 先着20名程度（小学生以上）
※小学生は保護者同伴

◆参加費 無 料 ※お昼持参！

◆申込・問合せ 7月16日（水）17時まで
軽舞遺跡調査整理事務所 ☎28-2733（平日のみ）
メール：shakai@town.atsuma.lg.jp



見学予定

1. 昔の田舎まつり会場
2. 上幌内小中学校跡地
3. 厚真ダム
4. 穂別博物館周辺
5. 厚幌ダム
6. 厚幌ダム右岸小公園
7. 厚幌ダム遺跡群見学
8. 幌内神社 など

← 昨年の見学会で、厚真ダムの説明を聞く参加者

北海道からのお知らせ

7月17日は「北海道みんなの日」

北海道の価値を見つめ直し、これからの北海道を考える日

1869年（明治2年）、北海道の名付け親とされる松浦武四郎が、明治政府に「北加伊道（ほっかいどう）」という名称を提案した7月17日は「北海道みんなの日」、愛称「道みんなの日」です。

北海道の魅力と価値を再発見し、北海道を誇りに思う心を育み、より豊かな北海道を築き上げることを誓う日として平成29年に制定しました。

この日をきっかけに、道民の皆様には北海道に愛着や誇りを持っていただき、北海道の魅力を発信する機会としていただければ幸いです。



二十歳のつどい実行委員募集

今年度も下記のとおり、20歳になる方を対象とした「令和7年度厚真町第4回二十歳のつどい」を開催します。開催に向けて、当日の運営の企画立案等に携わる実行委員もあわせて募集しますので、ご協力をお願いします。

【令和7年度二十歳のつどい】

日時 令和8年1月11日（日）午前中を予定

場所 厚真町総合福祉センター

対象 平成17年4月2日～平成18年4月1日までに生まれ、本人または両親が町内に在住している方（町外へ転出した方も参加可能）

右記のとおり、対象者自らが運営に携わり、一生に一度の節目をより充実したものにするため、実行委員を募集します。上記対象者で興味がある方は、ホームページから申込み、問い合わせをお願いします。



一生に一度の
節目を大切に

二十歳のつどい
実行委員募集しています

令和7年度第4回二十歳のつどい開催日時
令和8年1月11日（日）午前中を予定

一緒に
0から考えませんか？

募集対象

平成17年4月2日～平成18年4月1日までに生まれ、本人または両親が町内に在住している方（町外へ転出している方も参加可能）

内容

・自ら当事者として企画・立案していきます
・二十歳のつどい実施までに年間3～4回程度実施予定です。
※オンラインでの参加も可能です

こんなこと
話します

どんな記念品だと
いいかな？

思い出に残る
1日を作るための
アイデアを



申し込みフォーム

申込方法

★厚真町教育委員会社会教育グループ(0145-27-2495)へ電話申し込み
※7月18日（金）締切
※もしくは右記QRコードからも申し込み可能です。

5月定例教育委員会

5月29日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

5月校長・教頭会議について／厚真町教育研究所第1回全体研修会・部会研究について／第1回中央地区学校運営協議会について／第1回厚南地区学校運営協議会について／第1回厚真町いじめ問題対策連絡協議会について／その他10件

◆議案

令和7年度厚真町育英資金の貸付（早期貸付）について／その他1件

◆協議事項

厚真町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

◆その他

第60回北海道市町村職員教育委員研修会について／厚真町教育振興基本計画の評価について

★問合せ

教育委員会 学校教育グループ

☎27-2494

学校プール利用のお知らせ

次のとおり、一般の方に厚真中央小学校と上厚真小学校のプールを開放します。お気軽にご利用ください。

◆期間 7月16日（水）～9月7日（日）
※8月12日（火）～8月15日（金）は
学校閉庁日のため利用できません。

◆時間 ○平日

14時00分～17時00分

○土日祝日・夏休み期間

10時00分～17時00分

※昼休みのため、12時00分から

13時00分の間は利用できません。

★問合せ 教育委員会 学校教育グループ

☎27-2494

皆様のご利用を

お待ちしております！



図書室だより

夏休みは図書室へ

7月26日(土)から8月24日(日)までの夏休み期間、青少年センター図書室では本の展示と工作体験会、ブックリサイクルを開催します。

青少年センター2階で開催される「世界の昆虫展」に合わせて、虫のを見つけ方や飼い方、図鑑、虫がテーマの絵本を展示します。

8月5日(火)には、青少年センター図書室で牛乳パックを使った飛び出すおもちゃを作ります。牛乳パックと輪ゴムを使った、おなじみのおもちゃですが、とても簡単にできます。箱の中に入れるものを変えると、一年中遊ぶことができる楽しいおもちゃです。こちらの体験会は材料の準備が必要なため、参加したい方は予約が必要です。

3か月予報では、今年の夏も暑くなりそうです。青少年センターには冷房がありませんので、お越しになる際は、ハンディファンやうちわ、水分や塩分補給ができるものをご持参いただくと、健康面でも安心かと思います。夏休みはぜひ青少年センターにお越しください。



あそびに
きてね!

7月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは
24日(木) 10時00分から10時30分まで
場所：厚真子育て支援センターです。



びっくり箱工作体験会

日 時:8月5日(火)

午前 9時30分～11時30分

午後 13時～15時

場 所:青少年センター図書室
カウンター横

募集人数:各回4人 先着順

持 ち 物:持ち帰り用の袋

申 込 先:青少年センター図書室

☎27-2495(平日9時～17時)

募集期間:7月31日(木)まで

ブックリサイクル

図書室で不要となった本を配布する「ブックリサイクル」を開催します。今回は児童書が中心です。

期間:7月26日(土)～8月24日(日)

場所:青少年センター図書室入口付近

■青少年センター図書室開館時間

9時00分～17時00分(月・水・金・土・日)

9時00分～19時00分(火・木)

※祝日、年末年始は休館となります。

■厚南会館図書室

9時00分～17時00分(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は
休館となります。

☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

小学生にとっては、1学期のビッグイベントである運動会も終わり、子どもたちも保護者の皆さんも、ホッとひと息ついていることでしょう。勝って嬉しい、負けて悔しい、個人の頑張りやチームで戦う意識のなかで、複雑に気持ちや動きを経験ができるのもスポーツの魅力だと思います。大変お疲れさまでした。

5月後半から6月前半にかけてのプログラムでは、緑が勢いづく学校林や校舎の周辺に春を探しに探検へ。恒例となっているヨモギを使ったおやつづくりや、色探しをテーマにした自然観察、隠れて走って駆け引きを楽しむ缶けりなどをおこないました。ヨモギのおやつは、ヨモギの天ぷらとヨモギ団子をつくりました。毎年、このおやつづくりのプログラムに参加している子どもたちは、ヨモギを見つける目が育っています。ヨモギの見分け方をたずねると、「葉っぱのふちがギザギザしていて、裏側に白い毛がたくさんあるやつ」と答えが返ってきました。山菜は、油断をして間違えると危険が伴うので注意をしつつ、身近な食材として楽しんでほしいと思っています。天ぷらもお団子も、口に運ぶとふわっと春の匂いがしました。普段は苦みのある野菜が苦手だという子も、美味しいとおかわりをするほどよく食べました。春の陽気に包まれながら、友だちと一緒に食べるおやつは格別なのですね。色探しをテーマにした自然観察では、植物採集用に格子の仕切りが入ったケースを子どもたちに渡し、自分が気になるものを自由に集めてもらいました。ピンク、白、黄色、青といった花々を彩りよく集める子がいれば、小枝やキノコ、松ぼっくりなどケースをはみ出す大物が好きな子もいます。活動の中でスズメバチが近づいてきたときの対応や、ウルシの見分け方を確認しながら、これからの時期に快適に外で遊ぶためのアドバイスもおこないました。高学年の活動日におこなった缶けり。缶けりを楽しむためには、逃げる方にもオニになる方にも、判断力や瞬発力が求められます。オニとの間合いと缶との距離、そして、自分の脚力や体力を総合的にはかり、チャレンジするかを考えるととても奥深い遊びだと思います。つかまってしまった仲間を、引きつけたオニを出し抜き、自分のひと蹴りで開放する喜びは缶けりの醍醐味です。また晴れた日の自由時間に、子どもたちと一緒に楽しめればと、カバンの中にスチールの空き缶を忍ばせておきたいと思います。

